

令和4年度第7回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和4年9月9日（金）午後1時30分～午後3時00分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 多 田 千 鶴 坂 本 英 樹
社会教育課長 武 山 鉄 也
- 欠席 山 田 敦 久 委員

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

一時的に気温が下がっていたが、最近は暖かさが戻ってきており、札幌では予想最高気温が29度の予報が出ている。30回の節目となるオリンピックデーランは無事終了することができた。皆様のご協力に感謝する。適応指導教室ウィズでは「ボッチャ」に力を入れており、体育の時間を利用して腕を磨いているところだが、8月20日に開催された「ふれあい広場」のボッチャ大会に「ウィズチーム」として出場したところ、日頃の練習の成果が発揮され、見事優勝に輝いた。生徒にとって大きな自信となったものと思う。

23日に滝川市で開催された「都市教育委員会連絡協議会定期総会」は、久々に各市の教育委員も集まる機会であり、様々な情報や意見交換することができた。札幌市の教育長とはバレーボールを通じて共通の知り合いがいたほか、オリンピック教室でお世話になった成田郁久美委員など、競技に関するつながりを再確認したところでもある。分散会のテーマは「生涯学習」であり、他の自治体の取組を聞く一方で、本市の取組についても伝える機会となった。

外部人材による授業としては、3年ぶりとなる「ダイハツものづくり体験教室」が開催された。子どもたちは体験を交えて楽しみながら「自動車産業」について学んでいた。大阪の本社の松林会長に声をかけていただいたことがきっかけで平成30年から体験教室が始まり、翌年には和寒、剣淵、幌加内の3町と名寄市にも範囲を広げることとなった。いずれの市・町からも好評を得ており、継続して実施してもらいたいとの声がある。ただ、和寒町は神社祭と日程が重複するため、令和元年から実施を見送っている。そのような中、昨日まで3日間、松林会長が士別に來られており、改めてお礼を申し上げるとともに、子どもたちが作成したお礼の文などをお渡しした。9月7日から本日にかけてはトヨタ自動車士別試験場を小学生と東高の生徒が見学している。また、「スポーツ能力向上事業」として、ホクレン、ダイハツ、日本郵政の各チームに協力いただき、小学校で陸上教室を開催してきたが、来週は中国電力チームによる陸上教室を予定しており、これで全ての日程が終了する。

合宿については順調であり、涼しい期間もあったことが幸いし、良い合宿ができているとの声も聞かれている。8月下旬には順天堂、帝京、中央学院や玉川など大学の合宿が行われ、男子は箱根駅伝に向けた調整に入ることになる。各チームが良い成果を得られるよう期待している。一方で日本実業団連合の男子合宿も行われており、トヨタ自動車の服部勇馬選手、富士通の鈴木健吾選手などが来士している。昨年女子合宿と同様に、チームや選手のPR動画を作成し道の駅で放映しており、備え付けの用紙に

応援メッセージを書いていただいた方には、チームのグッズや本市の特産品が当たるキャンペーンを行っている。ニューイヤー駅伝での活躍を期待し応援していきたい。

子どもたちの活躍については、土別翔雲高校の大崎柊哉君が、愛媛県で開催されたインターハイのウエイトリフティングで準優勝したほか、本市の児童生徒も所属しているチアリーディングチームも全国大会に出場した。チアリーディングは選手に感染者が発生し、大会前夜に編成を組み替えるというトラブルの中でも健闘したと聞いている。昨日は誠心館柔道チームに全国大会奨励費を授与したところであり、18日に東京で開催される大会での健闘を期待している。

教職員の人事協議に向けた聞き取りなども行っているところだが、来年は温小と上中で事務職員が配置できない見通しである。また、朝中は校舎が未耐震であることから、学校のあり方について保護者等との協議を行ってきたが、上中についても学校のあり方について協議を行わなければならないと考えている。そこで、8月23日には上中PTAの役員会、9月1日には上小PTAの役員会において、将来の生徒数と教職員の配置見込みなどについて情報提供し、中学校のあり方について検討いただくようお願いした。

前回の会議で審議いただいた「事務の点検・評価に関する報告」について、9月2日に開会した市議会定例会において報告したが、本年は議員からの質問はなかった。後ほど説明するが、一般質問が通告されており、適宜対応していく。

コロナウイルス感染症について、2学期明けにはわずかに陽性者が出たものの、その後一週間ほどは陽性者が発生しなかった。今は家庭内での感染が中心と見られており、学校での感染は抑えられていると感じている。一方で、和寒小では本日から13日まで学校を臨時休業するとのことである。引き続き感染拡大防止に努めていく。

10月16日に旭川市で「北海道豆トークショー」が開催されるが、パネラーの一人として南小の藤川栄養教諭が参加するとのことである。本市で生まれた「つくも4号」についても紹介してくれることを期待している。なお、観覧には事前の申込が必要となる。

学校におけるICTの通信環境については、業者と協議し改善に向けた対策を講じているところだが、予定より早く、10月頃には結果が判明する見込みである。また、本年も北海道教育大学の水上教授による研究授業が実施される予定である。昨年は複式学級における「わたり・ずらし」についての研究だったが、本年はデジタル教科書を活用した社会科の授業であり、学校間をネットでつなぐことも想定している。そのため、周辺校のネット環境についても、できる限り改善していく考えである。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第19号 「令和4年度土別市文化賞の選定」について説明を求める。

○武山課長

8月31日に委員10人全員の出席のもと、「文化賞審議会」を開催した。委員の皆さんからは「人望も厚く受賞にふさわしい」などの意見があり、全員一致で受賞可との答申が出されたところである。

○中峰教育長

前回の会議でも説明したが、教育委員会会議として決定していく。よろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

それでは教育委員会会議として受賞を決定し、市長に選定書を提出する。

○中峰教育長

議案第 20 号 「士別市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○須藤課長

前回の会議において「士別市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」について説明したが、9月2日に開会した市議会定例会において提案され、同日付で議決されたところである。そのため関連のある「士別市外国語指導助手就業規則」についても同様に改正するものである。

○中峰教育長

この件についてもよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇第3回定例会における一般質問について

○三上部長

教育委員会関連では6人の議員から質問が提出されている。詳細は各担当から説明する。

(別紙資料に基づき説明)

○加藤委員

フェイスブックやYouTubeなどは市でも活用しているのではないか。

○中峰教育長

博物館事業の様子や、コロナ禍でALTが生徒たちに向けて作成した動画を配信する際に活用している。また、チャレンジデーの際にも使用している。

○加藤委員

動画以外の情報も配信すべきであり、どこの自治体もPRの仕方に工夫が必要だと感じている。試行錯誤のうえPRが大当たりする場合もある。それぞれの部署が勝手な事をしては大変なので、どこかが管理しなければならない。

○馬場職務代理者

士別出身の山本明生さんという方が都内で勤務し、情報発信をしているようだ。

○加藤委員

知識や経験があっても、情報を受け取る側とマッチしなければうまくいかない。

教職員住宅については、取り壊すにも経費が必要である。

○中峰教育長

教職員住宅を行政が設置し、維持管理していくのは難しいことである。民間住宅なども活用していくべきと考えている。

○加藤委員

部活動の地域移行について、決定打となる指針は出ていないので、概要に沿っていく必要がある。

○多田委員

自分はSNSを使っていないが、子どもに聞くと、年代によって使用するアプリが違っているとのことである。複数の世代に対し、まとめて一度に情報を発信することは難しいと感じている。

○加藤委員

個人的にFacebookは2年ほど使用していないが、不便と感じることはない。情報は自分で広めるのではなく、誰かに拡散してもらおうべきものと考えている。何がきっかけで何に反応するかわからない。

○中峰教育長

先立つものがなければ出来ないこともある。誰に何をどうやって伝えるか、ニーズを把握することが重要である。社会教育事業も同様で、相手方が何を求めているのか考えなければならない。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後3時00分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章